

クマの出没に注意しましょう

今年も、ツキノワグマが動き出す季節になりました。外出するときなど、不意の遭遇などに十分にご注意下さい。

クマから身を守るために、市民の皆さんにクマの生態について知って欲しいことと心がけて欲しいことがあります。



ツキノワグマ※ってどんな動物？

- 性格は基本的におとなしく臆病。積極的に襲ってくることはありません。
- 花や葉、どんぐり・山ぶどうなどの実、ハチやアリといった昆虫など様々な物を食べる雑食性。
- 体長は大人でも約120～140cm。体重は約60～80kg。
- 木登りが上手で、ヒトより走るのが早い。



※日本にはツキノワグマとヒグマが生息しています。本州には、胸に月のマークがあるツキノワグマが生息しています。

クマに出会わないために心がけて欲しいこと

- 早朝や夜間の行動は避ける。クマが食料を探して特に動き回る時間帯です。
- クマの食料となる可能性のあるものの管理を行う。家庭ごみや家畜飼料、ペットの餌を屋外に放置しない。1キロ先のニオイも感じる事が出来る。
- 集落周辺のヤブの刈り払いを行う。体を隠せるヤブはクマが安心できる場所です。
- 山菜採りの際は、クマ鈴やラジオといった音の出るものを携帯する。こちらから人間の存在を知らせることで、ほとんどのクマは逃げていきます。

・・・もしクマに出会ってしまったら・・・

- ・クマに背を向けず、ゆっくり後退して距離をかせぐ。クマは走って逃げるものを追いかける習性があるため、決して走らないようにしましょう。
- ・大声を出したり、物を投げつけない。クマを刺激し興奮を煽ることとなり、かえって危険です。写真を撮影することも危険です。
- ・子グマでも決して近づかない。近くに必ず親グマがいて、子グマを守ろうと人間を襲うことがあります。
至近距離で襲ってきた場合、地面にうずくまり、首の後ろに手を組んで、クマが去るのを待ちましょう。

・・・日光市内はほぼ全域がクマの生息地もしくは生息地に隣接した地域です。クマが生息しているということは、それほど豊かな自然が残っているという証でもあります。・・・

・・・住民の皆さんとクマとの事故を防ぐために以上のことに心がけていきましょう。・・・

・・・問い合わせ先・・・

日光市役所 地域振興部 日光行政センター 産業建設係 (54-1114)